

総務教育常任委員会資料

(平成25年1月21日)

〔件名〕

- ・米子市営東山水泳場の県営化について 【財政課】・・・1
- ・民間事業所退職給付額等実態調査結果及び退職手当制度の見直し方針について 【人事企画課】・・・2
- ・宅地建物取引上の人権問題についてのアンケート調査結果の概要について 【人権・同和対策課】・・・4
- ・東京アンテナショップ・レストランのリニューアル・オープンについて 【東京本部】・・・5
- ・首都圏における「鳥取県フェア」の開催について 【東京本部】・・・7
- ・'13食博覧会・大阪出展及び非常勤職員（緊急雇用）の雇用について 【関西本部】・・・10
- ・関西経済界と連携した取組について 【関西本部】・・・11

総 務 部

米子市営東山水泳場の県営化について

(財産交換に伴う今後のスケジュール及び施設改修計画等)

平成25年1月21日
財 政 課
スポーツ健康教育課

平成24年11月に県と米子市は、県営米子屋内プールと米子市営東山水泳場を交換することで大筋で合意しました。今後、財産交換に向けての両施設の改修及び施設管理について、現段階の方針を次のとおり報告します。

1 財産交換に向けた主なスケジュール(案)

区 分		H24	H25	H26	H27	H28
施設改修	鳥取県 (県営プール)	(2月補正)		→		
	米子市 (市営プール)		(6月補正)	→		
			耐震化・老朽化			
			老朽化等			

※施設改修、財産評価、条例改正等の所要手続が終了した時点で交換を行う。

2 施設改修について

(1) 県営米子屋内プール

平成24年度2月補正予算において、県営米子屋内プールの建物のうち、屋内プール棟(管理棟、トレーニング棟を除く)の耐震補強及び老朽化の改修工事を要求予定。
(事業費総額(見込み): 5億円程度)

(2) 米子市営東山水泳場

平成25年度6月補正予算(市長選挙後)において、施設の老朽化や競技力向上の拠点施設として必要な機能を整備するための改修工事を要求予定。(事業費総額(見込み) 1.2億円程度)

3 指定管理等の取扱いについて

(1) 県営米子屋内プール

- 現行の管理は、期間が5年間(H21~25年度)で公募により、(公財)鳥取県体育協会を指定。
- H26年度以降の管理は、施設交換までの間、現行の指定管理者である(公財)鳥取県体育協会に対し、単年度で指定管理又は管理委託を行う方向で検討中。

(2) 米子市営東山水泳場

- 米子市営東山水泳場の現行の指定管理は、期間が5年間(H24~28年度)で、(一財)鳥取県水泳連盟を指定。

※財産交換の準備が整い次第、指定管理期間にかかわらず財産交換を行う。

4 交換による効果

(1) 県営米子屋内プール

- 住民により身近な米子市が運営することで、例えば高齢者への介護予防施設の機能追加等利用者のニーズや実態に応じたサービスの提供がしやすくなり、利便性の向上につながる。

(2) 米子市営東山水泳場

- 日本水泳連盟公認プールや飛び込みプールを備えた屋外プールと、25m屋内プールを県営化することで、国体や高校総体などで上位入賞している水泳や飛び込みの競技者が、より安心して練習に打ち込める環境整備を図ることが可能となり、競技力の向上につながる。

※スケジュール及び改修内容等については変更する場合がある。

民間事業所退職給付額等実態調査結果及び退職手当制度の見直し方針について

平成 25 年 1 月 21 日
人 事 企 画 課
人事委員会事務局

国家公務員に係る退職給付の引下げの動向を踏まえて、県職員の退職給付制度の見直しを検討するため実施した標記調査の結果について、次のとおり報告します。

併せて、この調査結果などを踏まえた県職員の退職手当制度の見直し方針について報告します。

1 民間事業所退職給付額等実態調査結果

(単位：千円)

		民間	県職員	差	備考
勤続 38～42 年(定年退職者相当)		23,057	29,212	△6,155	・平均(加重)額比較
内 訳	退職一時金(退職手当)	9,727	26,938	-	
	企業年金(共済職域部分)	13,329	2,274	-	
勤続 20 年以上(全調査対象)		22,454	29,134	△6,679	・ラスパイレス(勤続年数別)比較 ・退職者が1人のみの年数のデータを除く
内 訳	退職一時金(退職手当)	12,867	26,915	-	
	企業年金(共済職域部分)	9,587	2,219	-	

【調査事業所数】

母集団事業所	調査事業所	回答事業所
192	137	125

※母集団事業所及び調査事業所は今年度の民間給与実態調査と同じ

【データ数】

民間	県職員
133	63

※民間のデータ数は母集団復元後のもの(実数93)

【調査対象】

- ・勤続 20 年以上の事務・技術関係職種の常勤従業員(学歴及び役職は不問)
- ・H23 年度中の定年、勧奨又は会社都合による退職者

【調査結果に係る人事委員会の付帯意見要旨】

- ・民間事業所数や従業員数が元々少ないことから、調査対象退職者数は限られることとなるとともに、産業別、企業別の状況にも偏りが見られるため、限られた調査サンプルでの調査結果は、本県の民間実態を精確に表したものとは言えない面がある。
- ・公務においても、その年度の退職者の役職構成や、勤続年数毎の退職者数の偏りの有無などにより、調査結果が異なることが予想される。
- ・以上のことから、退職手当の制度・水準の見直しを議論する上で今回の調査結果の数値を用いる際には、サンプルの偏りなどにより精確な比較とならないおそれが多分にあることを認識し、慎重に取り扱う必要があると考える。

2 見直し方針

今回の調査結果、国家公務員の制度改正の状況などを踏まえて、本県職員について国家公務員に準じて調整率を引き下げることにより、県職員の退職手当制度の県内民間との均衡を図ることとしたい。

(1) 県内民間との比較…定年退職者を想定して勤続38年以上の者を比較

民間 23,057千円		
県職員 29,212千円		経過措置額 1,796千円
※「経過措置額」: 県独自の給与引下げ等に伴う経過措置として支給されているものであり、今後の減額・不支給が確定しているもの		較差 4,359千円

(2) 見直し(案)

退職手当 25,142千円	共済職域部分 2,274千円
調整率の引き下げ(国並び) 104/100→87/100	給与減等による支給減
21,116千円(△4,026)	1,850千円 (△424)
← 22,966千円(県内民間と概ね均衡) →	
← Δ4,450千円 →	

【標準的な退職者の例による試算】

(単位:千円)

職位(級号)	給料月額(円)	支給月数	基本額	調整額	退職手当額	共済職域部分	退職給付総額
課長補佐級(5-79)	383,900	49.59	19,038	1,500	20,538	1,850	22,388
課長級(6-71)	393,400	49.59	19,509	2,001	21,510	1,850	23,360

(3) 実施時期

平成25年4月1日

ただし、所要の経過措置を設けて段階的に引き下げる。

なお、経過措置については、国の経過措置を基本として、本県の実情や他県の状況等も考慮して検討する。

(4) 今後の予定

今後、職員組合との交渉を行った上で、所要の条例改正を2月定例県議会に提案する予定。

(参考) 国家公務員の退職手当制度見直しについて

(1) 人事院調査結果

民間 25,477千円 (退職一時金10,415千円、企業年金15,063千円)	
公務 29,503千円 (退職手当27,071千円、共済職域部分2,433千円)	
	較差 4,026千円

(2) 見直し内容

調整率の引き下げ(104/100→87/100)により公民較差を解消

勤続35年以上: 見直し前 57月×104/100=59.28月分

見直し後 57月×87/100=49.59月分(△9.69月)

(参考) 415,500円×9.69月=4,026千円

(3) 実施時期及び経過措置

年度	期間	調整率
H24	25年1月~3月	98/100
H25	4月~9月	
		10月~3月
H26	4月~6月	87/100
	7月~	

宅地建物取引上の人権問題についてのアンケート調査結果の概要について

平成25年1月21日
人権局人権・同和対策課
くらしの安心局住宅政策課

宅地建物取引上の人権問題（土地差別、入居差別）に係る県内の実態把握を目的として、宅地建物取引業者を対象にアンケート調査を実施し、結果をとりまとめたので報告します。

1 調査方法

- (1) 調査期間 平成24年10月～11月
- (2) 調査対象 322社（県内に事務所を有する宅地建物取引業者）
- (3) 回答数 ・同和問題に関する設問 176社（54.7%）
・入居制限に関する設問 81社（25.1%）
※「入居制限に関する設問」は、賃貸管理業を行っている社のみ回答

2 主な調査結果と対応方針

主な調査結果	課題・対応方針
○業者の約2割が「顧客や業者から同和地区の物件かどうかの問合せを受けたことがある」と回答。また、同和地区を理由に取引が不調になったり、取引価格に影響したとの回答も1割程度ある。	県民への啓発 同和地区の物件についての問合せや取引の不調などが今も存在しており、顧客（県民）において、同和地区に対する忌避意識が今も存在していることがうかがえる。 こうした差別意識を解消していくため、広く県民に対して、土地差別をテーマとした講演会の開催など啓発に継続して取り組む。
○同和問題などの人権研修に約7割の業者が参加している。一方で、約3割は参加したことがないと回答している。また、同和地区の物件かどうか教えることについて、差別につながると回答したのは5割弱となっている。	宅地建物取引業者への研修・啓発 宅地建物取引をめぐる人権問題解決には、業務に従事する業者の人権意識の向上が重要であり、23年度に続き、業者向け研修会や宅地建物取引主任者講習等における教育・啓発活動を行う。 業界の自主的な取組の促進 業界団体に対して、平成23年6月に策定した県行動指針（アクションプログラム）に基づき、「自主行動基準(仮称)」の策定を含め、宅地建物取引上の人権問題解決に向けた自主的な取り組みを促す。 (目標：年度内策定)
○入居を制限している賃貸住宅は依然として存在しているものの、平成21年度に行った調査結果と比較し、入居制限のある賃貸住宅の数は大幅に減少している。	入居制限の解消 昨年11月に設立した鳥取県居住支援協議会（県、市町村、不動産団体、福祉団体等が連携して住宅確保要配慮者に対して民間賃貸住宅への円滑な入居の推進を図るためのもの）において、「あんしん賃貸支援事業」の充実に取り組むなど、より一層の入居制限の解消に努める。

＜賃貸住宅の媒介に際し、家主から入居制限を依頼されているもの＞ (戸数)

調査年度		平成24年度		平成21年度	
制限対象	外国人	119	0.7%	2,922	18.3%
	障がい者	1,063	6.0%	2,183	13.7%
	高齢者	294	1.7%	2,663	16.7%
	ひとり親世帯	5	0.0%	1,205	7.5%
全管理戸数		17,613		15,977	

東京アンテナショップ・レストランのリニューアル・オープンについて

平成25年1月21日
市場開拓課
東京本部

平成25年2月4日（月）から、東京アンテナショップのレストランが下記のとおりリニューアル・オープンします。

1 名称の変更

旧名称 「オステリア・モンテマーレ・トットリーネ」

新名称 「トットリーネ」（鳥取いいね！）

2 リニューアル・オープン日

平成25年2月4日（月）

※前日の定休日に看板等の付け替えの予定です。

3 これまでの経緯

○平成20年8月、全国各県のアンテナショップレストランの中で、初めてイタリアンの店としてオープン。

○オープン当初は、目新しさもあり月平均約1,700人の利用、6,000千円の売り上げがあったが、平成24年度には月平均約1,400人の利用、4,000千円の売り上げに落ち込んできた。

※原因として、高額家賃（負担金）等を補うために設定した高級路線の価格帯が受け入れられなかったことがあるものと思料

○この度、幅広いお客様に受け入れられる価格設定と1階物産店舗とのさらなる連携を期して、リニューアル・オープンする。

4 運営内容の変更

○「鳥取らしさ」を感じる料理に県食材をさらに活かすため、イタリアンにこだわりすぎない幅広い対応が可能なスタイルへと脱皮

○1階（物販店）と共通した食材を扱うことなどで連携を強化

○従来の雰囲気そのままに、親しみやすいカジュアルな料理と価格

○運営内容の変更に伴いスタッフも変更

「オステリア・モンテマーレ・トットリーネ」が次のステップ「トットリーネ」(鳥取いいね!)へ
 (鳥取県東京アンテナショップ レストラン) (お知らせ)

「オステリア・モンテマーレ・トットリーネ」をご利用頂きましたお客様、ご協力を賜りました県内外の企業・生産者の皆さま、オープンより4年半、同店に温かいご支援を頂き、誠に有難うございました。

「オステリア・モンテマーレ・トットリーネ」は全国各県のアンテナショップのレストランの中で、初めてイタリアンとして平成20年8月にオープン致しました。オープン当初から各種マスコミに取り上げて頂き、鳥取県が誇る新鮮素材の海の幸・山の幸(モンテ・マーレ)を通じて、東京を中心とする関東の多くの皆さまに「鳥取県」をPRする事ができました。またオープン以降、私たちと同じようなスタイルを提案するアンテナショップのレストランが増えてきたことは、私たちが提案したスタイルが、お客様に新鮮さをもって受け入れられるものであったと大変嬉しく思っております。

そこで鳥取県アンテナショップといたしましては、皆さまがアンテナショップにお求めの形、ご期待の想いをより色濃く表現すべく、これまでのイタリアンから、「TOTTORI CUISINE」(キュージーヌ(仏)は料理の意)として、新たにご提案させて頂くことになりました。

より「鳥取らしさ」を感じる料理のおもてなし、また、1階物販店「食のみやこ鳥取プラザ」とのさらなる密な繋がりを大切に、新たなスタイルで、従来の洋風の雰囲気はそのままに、親しみやすいカジュアルな料理と価格で、平成25年2月4日(月)より、レストラン「トットリーネ」として新たにスタートいたします。

これからの「トットリーネ」がまさに『鳥取いいね!』と言われるよう努力すると共に、より一層心通う“美味しい”時間を皆さまにお届けして参りますので、新しい「トットリーネ」を何卒よろしく願い申し上げます。

平成25年1月吉日

株式会社ホテルセントパレス倉吉
代表取締役 名越宗弘

平成25年2月4日(月) OPEN

「1月31日(木)まではいつものお味で、イタリアン専門店として通常通り営業」



レストラン トットリーネ
TOTTORINE
「鳥取いいね!」

営業時間 11:30~14:30(ランチ)
14:30~16:30(ティー)
17:30~21:00(ディナー)
定休日 日曜・祝日・年末年始

2月1日(金)、2日(土)は臨時休業

〒105-0004 東京都港区新橋2-19-4 SNTビル2F
TEL: 03-5537-2558 FAX: 03-5537-2570
E-mail: monte-mare@stpallace.jp
HP: <http://r.goopc./o-m-tottorine/top>

【メニュー例】

ランチ

- パスタランチ(サラダ、パン付き) ----- ¥1,000
- 鳥取県産野菜のカレー(サラダ付き) ----- ¥1,000
- 本日のランチ(サラダ、パン付き) ----- ¥1,400

ティータイム

- デザート・セット(お飲み物付き) ----- ¥600

ディナー

- コース料理(AとBの2種類) ----- ¥2,800、¥4,700
- アラカルト(単品料理) ----- ¥800~
- 本日のおすすめ料理 ----- ¥1,200~
(税別)

【新スタッフ 紹介】

新店長：水谷芳樹(すいたに よしき)

現在、ホテルセントパレス倉吉 宴会副支配人
東京のホテルや会館(フォーシーズンズホテル椿山荘東京など)
で料飲サービスを学び、平成18年10月 ホテルセントパレス倉吉 入社。

資格: JSAシニアソムリエ, HBAシニアパーテンドー
HRS一級サービス士

新調理長：杉岡昌人(すぎおか まさと)

現在、ホテルセントパレス倉吉 レストラン調理長
大阪で調理を学び、鳥取の大山レークホテル調理長を歴任。
その後、平成23年9月 ホテルセントパレス倉吉 入社。

首都圏における「鳥取県フェア」の開催について

平成25年1月21日
東 京 本 部

本県特産品の首都圏での販路開拓を効果的に行うため、下記のとおり首都圏各所で本県の物産展、フェアを行います。

なお、フェア期間中は、会場内においてパンフレット配架、観光DVD上映や着ぐるみトリピーによる観光PRを併せて行い、鳥取県の認知度向上を図ります。

記

1 日本橋三越本店 「フードコレクション 食のみやこ鳥取県特集」

(1) 会期：1月16日(水)～22日(火)

(2) 場所：三越日本橋本店本館地下1階

(中央区日本橋室町1-4-1 電話 03-3241-3311)

(3) 出展企業数：18社(加工食品15社、生鮮品3社) ※詳細は別紙のとおり

(4) 共催：鳥取県、社団法人鳥取県物産協会、岩美町、鳥取県牛肉販売協議会

(5) 売上目標：1,600万円

(6) 観光PR：パンフレット配架、観光DVD上映、トリピーによる観光PR

(7) トピックス

- ・ 日本橋三越本店での本県物産展開催は6年ぶり
- ・ 平成24年4月に改装オープンした地下1階のフードコレクション会場を中心に開催
- ・ ブランド化を進めている「鳥取和牛オレイン55」や旬の「松葉がに」も販売

2 食品スーパーマーケット三徳 「鳥取・島根・山口特集」

(1) 会期：1月19日(土)～22日(火)

(2) 場所：食品スーパーマーケット三徳 35店舗

(本社 新宿区大久保2-1-1 電話 03-3203-3111)

(3) 商品採用企業数：13社(加工食品10社、生鮮品3社)、うち2社が店頭販売
※詳細は別紙のとおり

(4) 共催：鳥取県、社団法人鳥取県物産協会、鳥取県牛肉販売協議会

(5) 観光PR：パンフレット配架、観光DVD上映、のぼり旗の設置

(6) トピックス

- ・ 首都圏35全店舗で開催
- ・ 「鳥取和牛オレイン55」も販売
- ・ 昨年度のフェアでは、県内商品7社11商品で340万円(4日間)の売上

(別紙)出展リスト

日本橋三越本店「フードコレクション」鳥取県特集 1月16日(水)～22日(火)

大分類	小分類	出展企業	店頭販売企業	主な商品名
加工食品 (15社)	練製品	とうふちくわの里 ちむら	1月16日～23日	とうふちくわ各種、自家製ざるどうふ
	練製品	高塚かまぼこ店		ながいも蒲鉾、天ぷら
	練製品	あぶい蒲鉾		あごカツ、おにぎり蒲鉾、あごカツカレー(イートイン)
	魚加工品	角屋食品		アジフライ
	魚加工品	千年王国		紅ズワイかにおこわ
	魚加工品	松乃江		えてかれい
	肉加工品	ジュジュアン		鳥取和牛すき焼コロツケ
	肉加工品	大黒堂		大黒鶏の焼き鳥
	肉加工品	大山ハム		カントリーロースト、ソーセージ
	和洋菓子	大江ノ郷自然牧場		チーズケーキ
	和洋菓子	山本おたふく堂		ふろしきまんじゅう
	和洋菓子	石谷精華堂		打吹公園だんご
	弁当	米吾		吾左衛門鮓
	弁当	山陰海鮮 炉端かば		海鮮弁当
	漬物	白雪食品		砂丘らつきよう
生鮮品 (3社)	海産物	鳥取県漁協網代支店	1月19日～22日	松葉がに
	畜産物	MK開発	1月19日～22日	鳥取和牛オレイン55
	農産物	MK開発(卸経由)		ブロッコリー、白ネギ

食品スーパーマーケット三徳「鳥取・島根・山口特集」1月19日(土)～22日(火)

大分類	小分類	商品採用企業	店頭販売企業	主な商品名
加工食品 (10社)	農産加工品	中谷食品		手あげ、がんもどき
	魚加工品	丸綜		焼きば姿
	魚加工品	海産物のきむらや		あじの南蛮漬、味付くろも三杯酢味
	肉加工品	大山ハム	1月19日～22日	カントリーロースト、ペッパーシケン
	和洋菓子	清月	1月19日～22日	焼酎カステラ、そば饅頭
	和洋菓子	トラスト		もさえびせんべい
	乳製品	大山乳業(卸経由)		乳製品
	弁当	たくみ割烹		鳥取牛寿し
	弁当	米吾(卸経由)		歌舞伎座幕間
	漬物	泊綜合食品		砂丘らつきよう
生鮮品 (3社)	海産物	鳥取県漁協かろいち店		松葉がに
	畜産物	(卸経由)		鳥取和牛オレイン55
	農産物	(卸経由)		ブロッコリー、白ネギ

※店頭販売は大山ハム2店舗、清月1店舗で実施



MITSUBUKOSHI

自然がくれたごちそうを
幸と呼ぶのはどうしてだろう。

ANA
鳥取美人物語
冬



発行日本橋三越本店 〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1 電話/03-3241-3311(大代表) www.mitsukoshigourmet.jp
営業時間/午前10時~午後7時。本館・新館の地域から選ばれた商品は午後8時まで。新館9・10階は午前11時~午後10時。1月1日(火)は店舗休業日。
新年は1月2日(水)が初売日。1月18日(金)・19日(土)は全館干渉時まで。(新館9・10階は通常通りの営業となります。日本橋三越本店は、
2月5日(火)・19日(火)は店舗休業日とさせていただきます。銀座三越は、2月18日(月)・25日(月)は店舗休業日とさせていただきます。※価格はすべて税込です。



フードコレクション
〈鳥取県特集〉

1月16日(水)~22日(火)

■本館地下1階 フードコレクション

その他の出店

- 〈あぶい蒲鉾店〉あごかつ
- 〈高塚かまぼこ店〉ながいも蒲鉾
- 〈大江ノ郷自然牧場〉チーズケーキ
- 〈ジュジュアン〉鳥取和牛すき焼コロケ
- 〈山陰海鮮 伊端かば〉海鮮弁当
- 〈米吾〉米屋 吾佐衛門餅
- 〈大黒堂〉大黒鶏の焼き鳥
- 〈白雪〉鳥取県産砂丘らっきょう

※◎◎◎は本館地下1階 生鮮でお取扱いたします。



鳥取県には、砂丘や大山など豊かな自然に恵まれ、それらに育まれた海の幸・山の幸・里の幸が数多くあります。「食のみや鳥取県」の逸品を、ぜひご堪能ください。

鳥取県知事 平井伸治

※20歳未満の方の飲酒は法律で禁じられています。送料(箱20) 商品の産地・内容・素材・サイズ・価格が変更となる場合、または入荷が無い場合もございます。予めご了承ください。

鳥取県産松葉菜かにホイール

鳥取県で水揚げされた松葉菜がに。1月に最盛期を迎えます。
1杯 8,000円

鳥取県産和牛

旨みの決め手となるオレイン酸が55%以上の鳥取県独自のブランド和牛です。
100gあたり 2,500円

紐スワイカにおこわ

境港で水揚げされたかにをふんだんに使った、甲羅に入ったおこわです。
1個 525円

えてかれい

山陰を代表する魚、えてかれい。水揚げされた水揚げされた真あじを使って手作業でつくりました。冷めてもサクサクです。
1枚 840円

魚屋 境港で生からつくったアジフライ

水揚げされた真あじを使って手作業でつくりました。冷めてもサクサクです。
4枚入(冷凍) 525円

カントリローロースト

豚ロース肉の風味を生かし表面を軽くロースト。あっさりとした上品な味わい。
72g 498円

山本わたなく

黒砂糖と和三盆糖を使った風味豊かな饅頭。中はこしあんです。
8個 601円

打吹公園たんこ

小豆あん、白あん、抹茶あんの中にやわらかいお餅の入った三色串団子。
5本入(各日200点限り) 501円

鳥取和牛とうふちくわ

鳥取の老舗「たくみ割烹」の「鳥取和牛しぐれ煮」を贅沢にのり込んだ自撰作。
1本 336円



「三越グルメ公式 Facebookページ」のご案内

<http://www.facebook.com/mitsukoshigourmet>

Facebookに日本橋三越本店食品フロアの公式ページ「三越グルメ」ができました。店頭のおすすめや旬の商品、物産展の様子など、Facebookならではの最新の情報を掲載しています。Facebookをお使いの方は、「いいね」をクリックして、「三越グルメ」にご参加ください。

【Facebook モバイル】携帯電話でもご利用いただけます。



13 食博覧会・大阪出展及び非常勤職員（緊急雇用）の雇用について

平成25年1月21日
関西本部

1 概要

約60万人が来場する4年に一度の関西圏屈指の食と観光のイベント「13食博覧会・大阪」が本年春にインテックス大阪で開催される。

本県としても、県内事業者等が消費地からの情報収集、新商品のテストマーケティング、県内自治体等が観光PRを行う好機でもあり、全国から消費者・パイヤー等が訪れる食博覧会において「食のみやこ鳥取県」のPR・販路拡大及び県内への観光誘客を図るため出展する。

〔今回の出展の特徴〕

- ・今回はインバウンド誘致も含めた「食と観光」を連動させたイベントを実施
- ・鳥取道の全線開通もあり、食博を通じた観光誘客促進を図っていく。
- ・出展小間数は、前回の物販を中心とした2小間から、今回は観光PRを充実させるために5小間に増加

2 実施時期

平成25年4月26日（金）～5月6日（月）
10:00～18:00（最終日は17:00）

3 場 所（鳥取県ブースの出展場所）

インテックス大阪 6号館A〔日本の味覚館〕（大阪市住之江区南港北1-5-102）

4 テーマ

食博テーマ：「食でつなごう日本と世界」

鳥取県テーマ：「食べて旅する鳥取県 ～自然の恵みと匠の技術～」(仮)

5 鳥取県ブース実施体制

主 催：鳥取県関西本部

ブース出展：県内市町村・企業等、出展を希望する団体

6 実施内容

○借り上げ小間数 5小間（1小間：5.4m×2.7m：14.58㎡）
なお、フリースペース4小間分も活用可能

○ブース内容

「匠の技術・新商品PR・インパクトブース」 1小間
食に関する技術及び新商品のPR等を行う。

「物販ブース」 1小間
県産の農畜水産物・加工品等を販売する。

「観光と食を連動させた鳥取県PRブース」 3小間
食をからめた観光PRを行う。

○商談会（食博覧会実行委員会の主催：予定では逆商談会）への参加

※今回は第8回の開催で、鳥取県は第2回から参加しています。

7 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業内容

事業名	本年度予算額 (うち新規雇用 人件費)	雇用創 出人数 (延べ)	①月額給料 ②雇用期間(予定) ③被雇用者の要件	事業内容
13食博覧会・大阪販路開拓等ネットワーク形成事業	1,220千円 (1,090千円)	1人	①161.7千円 ②H24年11月～H25年3月 ③特になし	食博覧会・大阪において、出展事業等を効果的に推進していくために、食の博覧会を活用した食と観光の情報発信業務、県内の食及び観光関係者へのPR業務、在阪のパイヤーへの情報提供と商品ニーズ収集等を行う職員を配置する。
合計	1,220千円 (1,090千円)	1人		

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

関西経済界と連携した取組について

平成25年1月21日
関 西 本 部

関西本部では、鳥取と関西との経済交流をより一層拡大させるため、関西経済界・経済団体等との連携・協力を図りながら、次のような取組を行う。

1 平成24年度「鳥取県サポーターズ企業交流会」の開催

関西から本県に進出している企業の本社・親会社（103社）や関西で活躍される本県ゆかりの経済人に、知事、市町村長等のトップセールスを行うとともに、関西経済界と本県との信頼関係の構築を図り、経済交流の拡大を推進するため、サポーターズ企業交流会を開催する。

- (1) 日 時 平成25年2月12日（火）午後4時～7時
- (2) 場 所 ホテルグランヴィア大阪（大阪市北区梅田）
- (3) 主 催 鳥取県
- (4) 参 集 約120名（関西の鳥取県進出企業、関西経済団体（関経連・商工会議所等）、鳥取県ゆかりの経済人等、鳥取県、鳥取県の市町村長、鳥取県内の経済団体等

(5) 内 容

- ① 鳥取県産業施策等についてのプレゼンテーション
- ② 県内市町村等によるプレゼンテーション
- ③ 講演：演題「あべのハルカスを中心とした関西経済の発展について」（仮称）
講師 株式会社近鉄百貨店 代表取締役社長 飯田 圭児 氏
- ④ 意見交換
- ⑤ 交流会

2 とっとり語る記者のつどいの開催

鳥取県出身、または鳥取県内に勤務経験のある在阪マスコミ関係者（60名）とのネットワークを構築し、関西圏における効果的な情報発信に資するため、とっとり語る記者のつどいを開催する。

- (1) 日 時 平成25年2月12日（火）午後3時45分～5時
- (2) 場 所 ホテルグランヴィア大阪（大阪市北区梅田）
- (3) 主 催 鳥取県

3 “とっとり”発 環境セミナーの開催

鳥取環境大学で取り組まれているバイオマスを活用したエネルギー変換や本県企業が自社開発されたオリジナル次世代LED照明等について関西企業等の皆様へ広く周知・PRし、今後、共同研究等連携への取り組みの可能性について相互に理解を深めていただくため、関西経済連合会とともにセミナーを開催する。

- (1) 日 時 平成25年2月21日（木）午後2時～4時
- (2) 場 所 中之島センタービル（大阪市北区中之島）
- (3) 主 催 鳥取県、関西経済連合会
- (4) 定 員 関西経済連合会会員企業 等 約180名
- (5) 内 容

- ① 演 題：「バイオマス資源のエネルギー変換について」
講 師：鳥取環境大学 環境学部環境学科 教授 横山 伸也 氏
- ② 演 題：「次世代LED照明について」
講 師：光電気通信システム株式会社 取締役設計部長 田口 雅之 氏

4 その他（関西地区ビジネスフェアへの出展、鳥取県内視察の実施）

(1) NIKKOフェア

- ① 概 要 関西の事務機器・文房具などのメーカーが一堂に会する（株）日興商会主催の展示商談会（開催地：尼崎市）に出展し、鳥取自動車道の全線開通やとっとりグリーンウェブ等のPR
- ② 期 日 平成25年2月7日（木）～8日（金）

(2) 関西生産性本部による鳥取県内視察

- ① 概 要 境港国際旅客ターミナル・氷温研究所の視察、DBSクルーズフェリーの乗船体験等
- ② 期 日 平成25年2月22日（金）～23日（土）